



議長	局長	書記	受付	受付番号
			令和8年5月25日 午前・午後9時20分	3

令和 8年 5月25日

飯島町議会議長 宮脇 寛行 様

議席番号 4番

飯島町議会議員 宮下 秀和

一般質問通告書

下記のとおり飯島町議会会議規則第59条第2項の規定により一般質問の通告をします。

質問事項 (タイトル)	内容 (内容が分かるように具体的に記載)	答弁を求める者
1 原油高騰による、品不足・物価高騰対策について	1-1 原油価格の高騰や、ナフサ不足による影響について、町民・町内事業者の実態を町としてどのように把握しているか。	町長
	1-2 今後、ナフサ不足が解消しても、諸物価の上昇は続く。国において補正予算作成も進められているが、町民や町内事業者に対する町独自の支援策を検討しているか。	町長
	1-3 昨今の経済状況の悪化により、収入減などを理由とした住民税、国民健康保険税、上下水道料金などの支払い相談、滞納は増えているか。	町長
	1-4 町民支援には、きめ細かな行政サービスが重要である。滞納を長期化させないために、税金や公共料金などに関する相談窓口を設け、広く周知する事が必要と考えるが、町の見解を問う。	町長
2 私有山林の適正管理について	2-1 所有者不明で固定資産税の課税や徴収が困難となっている土地は、町内にどの程度あるのか。	町長
	2-2 所有者が判明しても、手入れがされていない私有山林は多い。飯島町森林経営管理制度実施方針では、「所有者からの申し出により集積の上、市町村森林経営管理事業の実施を検討」とし、また「森林事業体で	町長

	<p>は事業不成立となる森林（不経済林）については、・・・町による必要な整備を進めていく」としている。現在、岩間地籍や七久保地籍での意向調査が進んでいる。今後、町は私有林整備をどのように進めていく考えか。</p>	
<p>3 クロモジを活用した山林整備と地域振興について</p>	<p>3-1 山林の荒廃を防ぐためには、木材利用だけでなく、森林環境の観光利用や、林産物の商品化も重要である。「いいじま森の会」では、山地に自生するクロモジの生産・商品化に長年取り組んでいる。町は、クロモジの商品化にどのような支援をしているのか。</p> <p>3-2 クロモジの生産量を増やすためには、自生地の拡大が必要である。山林環境はクロモジの自生に適しており、人里に近い山林を間伐・整備することで、管理しやすいクロモジ自生地を形成できる。こうした整備は、大型野生動物と人里の緩衝帯づくりにも役立つ。町が整備を受託した私有林を活用し、クロモジ自生地の拡大をすすめる考えはあるか。</p> <p>3-3 地域を活性化させる産業として、「飯島クロモジ」商品のブランド化と生産増、クロモジ採取・加工を体験する体験観光などへの支援について、町の「地域商社」構想との関連も含めて見解を問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
<p>4 小中学生の SNS 依存防止・ニセ情報対策を問う</p>	<p>4-1 YouTube を含む SNS は、依存性を高めやすい仕組みをもっている。子どもの SNS 依存は、脳の発達や学力、心理的健康に影響を及ぼす深刻な問題であり、ニセ情報に取り込まれる危険性も高い。町内小中学校でも危険性を学ぶ講演や授業に取り組んでいる。教育委員会として子どもの SNS 依存やニセ情報の危険性をどのように認識しているか。</p> <p>4-2 小中学生の SNS 依存やニセ情報対策には、保護者を含めた家族ぐるみの取り組みが不可欠である。町として保護者や町民に対し、どのような啓発活動を行っているか。また、今後どのように取り組みを強化していく考えか。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>